

金沢大学附属病院 放射線部

【施設紹介】

金沢大学附属病院は、1862年に加賀藩が金沢彦三に開設した種痘所を起源とし、医科大学としては全国で3番目につくられた北陸の中心的な医療機関です。現在の当院は病床数830床となっています。金沢は雨や雪の日が多く、傘をささなくても駐車場まで移動できるような工夫がされています。



【組織・体制】

診療放射線技師は41名（常勤30名、非常勤9名、雇用延長2名）、勤務体制は、2交代制（夜勤：15：45～8：45）、残り番（夜勤サポート）、血管造影とMRIは待機当番がサポートしています。

【基本理念・基本方針】

金沢大学附属病院は「最高の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人の育成に努める」という基本理念のもとで、臨床・研究・教育に努めています。また、放射線部では「最高の技術で最新の医療を安全に提供する」という基本理念を立て、地域をリードしていく人材の育成に努めています。

【新人教育と若手人材育成】

放射線部は一般撮影、CT、透視、MRI、血管造影、治療、RIの7部門で構成されており、新人や若手はすべてのモダリティを経験するようにローテーションを行っています。そのため、業務マニュアルには常に新しい情報に更新するように心がけています。新人、若手教育の一環としてスポーツ大会を通じてチームワークを高め、ソフトボール、バレーボール、駅伝大会などに放射線部と放射線科合同で積極的に参加するようにしています。また、第1種放射線取扱主任者、医学物理士、第1種衛生管理者、放射線治療専門放射線技師、核医学専門技師、マンモグラフィ撮影認定技師、磁気共鳴(MR)専門技師、X線CT認定技師、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師、放射線治療品質管理士、放射線管理士、放射線器機管理士、医用画像情報管理士、医用情報技師、情報処理技術者などの専門資格の取得にも力を入れています。

各モダリティでスキルマップを作成し、評価項目に対して自己評価と主任技師による評

価を行い、業務の到達度を確認しています。

研究に関してはモダリティごとに研究グループが組まれており、研究活動リストに進捗状況が可視化されています。各グループで研究テーマ選択や発表の支援が行われ、論文投稿まで研究グループで協力して研究を進めるようにしています。また、保健学類の教員と研究アドバイザーとして協力体制があり、その後の大学院進学の道も開けています。

【学位取得】

当院は金沢大学医薬保健学域と隣接しており、社会人院生として学位取得が可能です。現在技師 40 名の内、修士は 13 名、博士は 8 名です。入職後、臨床で必要と感じた研究テーマを見つけ、働きながら大学院という選択肢がある環境は理想的であり、全国的に見ても少ないです。各分野で著名な金沢大学の教員と密に連携することが可能であり、共同での研究も多く行われています。今後求められる放射線業務の改善、イメージングの比較・最適化などの技術習得にも非常に良い環境です。

【科研費取得】

科研費への応募も積極的に行っており、若手研究・奨励研究など毎年取得実績があります。初めて応募する場合でも実績のある先輩のアドバイスがありますので安心して申請できると思います。また科研費を取得できれば、自身の研究環境を充実させるための機器・資料など自由に購入することができます。

【福利厚生】（2022.4.1 現在）

1) 身分：国立大学法人金沢大学職員（任期付常勤職員）

2) 任期：任期付常勤職員の任期は 3 年とし、勤務実績により最長 5 年まで更新可能 ※ 2017 年度から、業務実績・学術業績による評価・選考の上、任期付常勤職員を無期常勤職員に採用する制度が導入されました。

任期を迎える前に試験を受けて任期無し常勤として残る人が多いですが、他の病院や医療機器メーカー、教員への道へ進む方もいます。

3) 給与：就業規則等に基づき支給（昇給：年 1 回）（例：大学卒の初任給 210,532 円 短大 3 卒の初任給 195,494 円 【地域手当含・2022.4.1 現在】）賞与：4.24 月分（2022 年度予定）

4) 手当：

①通勤手当②住居手当(上限 27000 円)③扶養手当④時間外勤務手当等を規定により支給。

⑤ 特殊勤務手当（放射線取扱手当）X線、その他の放射線を人体に対して照射する作業に従事、1カ月間に外部放射線を被曝し、その実効線量が100マイクロシーベルト以上の場合、7000円/月支給。

5) 休暇：年次有給休暇（4月採用時に15日付与、翌年1月に20日付与、繰越有、2021年度取得実績：平均6.3日）、特別休暇の夏季休暇5日を含めると休暇は11.3日となります。

特別休暇（忌引、結婚、産前産後、夏季等）、病気休暇、育児休業、介護休業制度あり
社会保険：国家公務員共済組合および労働保険（雇用、労災）に加入

6) 職務内容：診療放射線業務全般（夜勤休日勤務有り）

7) 勤務体制：交替制勤務（4週間を平均し1週間あたり38時間45分勤務）

・日勤：8:30～17:00（休憩45分含む）

・夜勤：15:45～翌日8:45（休憩90分含む）※月1～2回程度

・休日：4週間につき8日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12/29～1/3）※休日に勤務の場合、事前に振替日指定あり。

8) その他：育休後の時短取得実績あり。（現在5名の技師が時短勤務利用）

男性育休取得、時短勤務実績あり。

【放射線部 HP の紹介】

興味を持ってご覧下さり、ありがとうございます。

下記の放射線部ホームページでは実際に働いている技師の声や業績など紹介されています。

↓ 金沢大学附属病院 放射線部 HP ↓



<https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/housyasen/index.html>